

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		夏休みスペシャルおはなし会実施事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	高木 敏明	
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	福田 有里子	
	基本事業	68	学習やスポーツへの参加機会の提供			所属班	図書館班	(内線)	2512	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果	8
		1	10	5	8	10805			コスト削減優先度評価結果	6
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		15	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										
【事業の内容】 市内の小中学生からボランティアを募り、図書館職員と一緒に小さい子どもたちへの読み聞かせを行う。夏休み期間中に実施。										
【業務の流れ】 市内の小中学生からボランティアを募り、図書館職員の担当を決める。小中学生に指導しながらおはなし会の会場準備・市民への周知をする。										
【主な予算費目】報酬、報償費、需用費(消耗品費)										

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 西合志南中学校から5名集まり、ペープサート・影絵・ブラックパネルシアターなどを行った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ボランティアについては市内の小学校上級生及び中学生 おはなし会参加者は図書館利用の小学生以下の子ども及びその保護者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 開催回数 回 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 小さな子どもたちへの読み聞かせを体験する。 おはなし会の楽しさを感じ、創造性を養う	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 市内小学生数 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 学習やスポーツに参加する機会がある	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア おはなし会ボランティア参加者数 人 イ おはなし会に参加した人数 人
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 学習に親しむ機会があると思う市民の割合 % イ スポーツに親しむ機会があると思う市民の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 目標(目標)	23年度 目標(予定)	全体計画 ～ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円					4	4	4
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	3	11	0	0	6	6	6
	(A) 事業費計	千円	3	11	0	0	10	10	10	総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 の み 記 載)  0
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20	20	20	
(B)人件費計	千円	79	80	80	80	80	80	80	80	
トータルコスト(A)+(B)	千円	82	91	80	80	90	90	90	90	
活動指標	ア イ	回	1	1	1	1	1	1	1	目 標 計 画  22 年 度
対象指標	ア イ	人	3357	3391	3470	3538	3500	3500	3500	
成果指標	ア イ	人	9	11	10	5	7	7	7	
上位成果指標	ア イ	%	45.1	50.8	45.5	47.3	45.8	46	44	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
平成15年度より、図書館利用率の低い中学生を対象とした事業はなにか出来ないかと考え開始した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
積極的にボランティアに参加希望する子は少ないものの、一度体験すると楽しかったという子が多い。徐々に夏休みのイベントとして認知度が上がってきている。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
おはなしに語りとして参加した子も、観客として参加した方々も概ね、楽しかったとの意見だった。

事務事業名	夏休みスペシャルおはなし会実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ ボランティア参加の子どもたちの心を育て、感受性ゆたかな人に育てもらうためにより小さな子どもたちへの読み聞かせを体験する、おはなしを聞く子どもたちにはおはなしの楽しさを感じ、想像性を養うという意図は学習やスポーツに参加する機会をつくるという結果に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 子育て日本一をうたう市長のマニフェストからこの事業は、将来の市を担う子どもたちの育成という観点により市が行うのは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 市内広域の子どもたちの参加について考慮すべき面がある
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 図書館職員の資質を高め、よりの確な指導をボランティアの子どもたちにしていくことでよりよいおはなし会が開催できると考える
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 廃止するならば子どもの心の育成を図る別の事業を企画すべきである。将来を担う子どもの情操を育てるのは図書館の勤めである
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 今のところ他に中学生が主体となって実施する事業がないため、統廃合はできない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ボランティアの子どもたちにも薄謝を渡すだけなので、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 必要最低限の時間で事業をしている。削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 図書館法により図書館で主催する事業は無料で行わなくてはならないため、公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…市内広域の子どもたちの参加について考慮すべき面がある。 ②有効性については、…図書館職員の資質を高め、よりの確な指導をボランティアの子どもたちにしていくことでよりよいおはなし会が開催できると考える。 ③効率性については、…

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ボランティアの子どもたちが個人でも練習できるよう計画し、合同練習時間を減らして西合志館まで通う回数を減らしてみる。職員研修・情報交換を積み、職員の技術を向上させ、指導力を養う。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	5	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )